

「おいしいは、たのしいねっ。」を テーマに飲食店事業と 流通・外販事業を展開。



株式会社 YOSHIMI
代表取締役社長兼オーナーシェフ
カツ ヤマ

勝山ヨシミ氏

〈プロフィール〉

昭和26年、美唄市に生まれる。中学校卒業後、菓子製造会社勤務を経て、たい焼きの製造・移動販売を開業。同58年、すすきのにレストラン&バー「チャーリースクラブ」を開店。平成2年、同社設立。

カレーとオムライスを軸に 多彩な店舗戦略を推進

すすきの中心部に店舗を構える「YOSHIMI本店」。オープンキッチンスタイルで料理のジャンルにこだわらず、旬の魚介や新鮮な道産野菜のおいしさを生かした創作料理を提供している。昭和五十八年、勝山社長が「食を楽しむ店を」と開店したレストランをルーツとする同店は、近年急速に多店舗展開を推進する同社の旗艦店として創業の精神を今なお伝えている。

同店の二号店が生まれたのは平成二年。札幌バルコに「YOSHIMI-KITCHEN」を開店した。二年後には同フロアにカレー専門店をオープンし、その後は東京・池袋、名古屋、福岡、仙台と全国のバルコの outlet オフアーに迎え、出店を重ねてきた。

「どの店でも安定したおいしさを提供できるよう、カレー製造をメーカーに委託するなど全国展開可能な基盤を整えつつ、新業態の開発も果敢に行っています」と勝山社長は語る。「昨年夏には、福岡空港の国内線第二ターミナルビルに、滑走路が一望できるエアポートレストランを

新しいメニュー、業態、商品の開発を通し、北海道の観光振興、活性化に貢献したい。

オープンしました。また秋には、池袋パルコに卵料理専門店とカレー専門店を相次いで開きました。札幌圏においても、平成二十二年に札幌パルコにビュッフェスタイルのスイーツ専門店、一昨年には三井アウトレットパーク北広島と大通ピッセに「カレーとオムラ



観光土産市場を席卷する「札幌カレーせんべいカリカリまだある?」(右上)
「札幌おかし Oh! 焼とうきび」(右下)
今年2月発売の新品「カレーヌードル」(左上)

イスYOSHIMI」をオープンし、それぞれ好評いただいています。今後も「おいしい料理と楽しい時間」をお届けできる、YOSHIMIならではの店舗を広げたいと考えています。

現在、同社が展開する飲食店は、全国に十三店を数える。この四月には千葉県木更津市に誕生する三井アウトレットパークへの出店を予定するなど、今後も同社の出店戦略が目される。

ネーミングとパッケージにこだわりヒット商品を開発

レストラン部門に並び、同社の急成長を支えているのが、外販商品の開発・販売を手がけるリテール部門である。平成二十一年より販売を始めた「札幌カレーせんべい カリカリまだある?」は初年度から好調な売れ行きを重ね、北海道の観光土産菓子の定番商品としての地位を固めつつある。

「売れている商品のネーミングやパッケージにはどんな共通点があるか。消費者の気持ちは、今どこにあるのか。そんなことをいつも考えています。『カリカリまだある?』というネーミングは、私自身がこの商品を食べた後の感想をそのまま用いました」と勝山社長。パッケージは手を伸ばしやすい気軽さを演出するためにレトロ感が漂うデザインを採用。六百三十円という価格で手頃さを演出し、観光土産市場に新風を巻き起こした。さらに昨年春に発売した「札幌おかし Oh! 焼とうきび」は、発売開始から三か月間で二十五万個を販売し、一躍ヒット商品となった。同商品も口語風の商品名やレトロ感のあるパッケージなど、カリィせんべい同様の気軽さ、手頃さをアピールしている。

「大通公園の焼とうきびの甘みや香ばしさを可能な限り再現し、日持ちがする札幌ならではの土産に仕上げました。当初は一箱六袋入りだけでしたが、ご好評にお応えして十袋入りも販売するようになりました。商品の売り上げの一部は、札幌市に寄付しています。大通公園やとうきびワゴンの運営の一助になれば光栄です」。

Information

株式会社 YOSHIMI

中央区南6条西1丁目5番地
6・1ビル8階

011-511-7323

http://www.yoshimi-ism.com/



ビュッフェスタイルのスイーツ専門店「Shall we SWEETS!」(札幌パルコ店)

同社ではこのほかにも、レトルト商品のスープカレー「じゃがいもチキン」、日本航空国際線の機内食にも採用された「熟成三十年カリィ」、カマンベールチーズなどを開発販売。この二月には、レストランのレシピを生かした「カレーヌードル」も新たに発売した。「微力ですが、北海道観光の魅力をもさらにアップし、経済の活性化に貢献したいという思いは強くあります。事業の柱はレストランとリテールの二本ですが、その中でいろんなジャンルを広げているのが強みです。北海道には、水、農産物、畜産物などおいしいものがいっぱいあります。既存店のメニュー開発、今までにない業態開発、日本全国から海外まで視野に入れた新しい商品開発など、当社ならではの発想と行動力で、夢を一つひとつ着実に実現してまいります」。